

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

保科正之「無いことを見せる」 瀧澤 中 (作家・政治史研究家)

1. 史上最高のナンバー2は？と聞かれれば、私は間髪入れず「保科正之」と答える。徳川三代将軍・家光の、母親違いの弟。三代家光、四代家綱時代に見事な政策や助言の数々で、幕閣はもちろん庶民からも慕われた。明暦3(1657)年、江戸市中を焼き尽くした明暦の大火は、一説には死者10万人の惨事に。江戸城も天守も含めほとんどが焼き落ちた。
2. 幕府内で江戸城天守再建の話が出た。だが、四代将軍・家綱の後見人であった保科正之は猛然と反対。再建は見送られ、以後江戸城は天守無しの城となった。保科正之の意図は何か。市中の復興が済まないうちに江戸城天守が再建されたら、それを見た民がどんな目で幕府を見るのか。世界初ともいわれる老齢年金を会津藩で創設するほど民を思う正之ならば、民の立場から幕府がどう見られるか想像したはずである。
3. 正之は天守の無い江戸城を見せることによって、民の信頼をつなぎ止めた。「ああ、幕府は私たちのことを後回しにはしないんだ」という安心感を民に与えたのである。企業でも行政でも、何事かを成そうと必死である。それは大変結構なことだが、何かを後回しにする、何かを建てないことで、社員や地域住民たちの信頼を得ることもある。
(参考:「週刊ダイヤモンド」2023年9月30日号)

経営者のための理念・哲学

人間の心は腐りやすい

1. 「敬、怠に勝てば吉なり 怠、敬に勝てば滅ぶ」。東洋古典『小学』にある言葉である。敬しみの心が怠りの心に勝てば吉だが、逆に怠りの心が敬の心に勝てば、その結果は滅びに至る、の意である。時を越え国を越えて不変の真理である。「敬」には「つつしむ」の他に、「真心を込めてつとめる」の意もある。
2. 心に敬に向かわせるか、怠に向かわせるか。これは人生の重大事である。人間の心は放っておくとすぐに雑草が生える、と多くの先達が言っている。「人間の心は腐りやすい」とは常岡一郎氏の言である。その心を清潔、新鮮に保っていくためには何が必要か。よき人、よき教え、よき言葉に出会うことが絶対に不可欠である。

(参考:「致知」2023年12月号)

新規成長分野

AIカメラで自動値下げも

1. デジタル技術を小売りの店頭などに生かす「リテールテック」が広がっている。人工知能(AI)カメラやデジタルサイネージ(電子看板)を活用した新たなマーケティングが進む。地域の課題に対応しながら、生産性を高める狙いもある。
2. 福岡市と北九州市の中間付近に位置するディスカウントストア「トライアルGO 脇田店 in みやわかの郷」(福岡県宮若市)。食品や生活用品を扱う店内にAIカメラやデジタルサイネージ(電子看板)などリテールテックを集積した先端の「スマートストア」だ。店内にはAIカメラ105台を設置。すし・惣菜・弁当売り場では、天井付近のAIカメラが画像解析によって販売状況を確認する。在庫点数が多い場合は、AIが「値下げ」を自動で判断。最新テクノロジーを価格戦略に直結させる。

(参考:「日経ビジネス」2023年10月16日号)

古典に学ぶ

心を磨けばぶれない心が育つ

1. 「悟り」というと、厳しい修行や勉強を重ねなければたどり着けない特別なものだと感じるかもしれませんが、でも、そう難しく考える必要はありません。
2. 自分という存在について知り、心を磨いていけば、おのずと無明から脱して悟りの状態に近づけます。望まない出来事が起きたり、思わぬ方向に状況が展開したりしても対応できるしなやかさと、ぶれない心が育ちます。

(参考:名取芳彦監修「空海 道を照らす言葉」:河出書房新社)